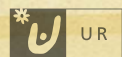


UR賃貸住宅
団地景観フォト&スケッチ展 2014
作品集

ふれあいの団地 ～笑顔の集まる場所～

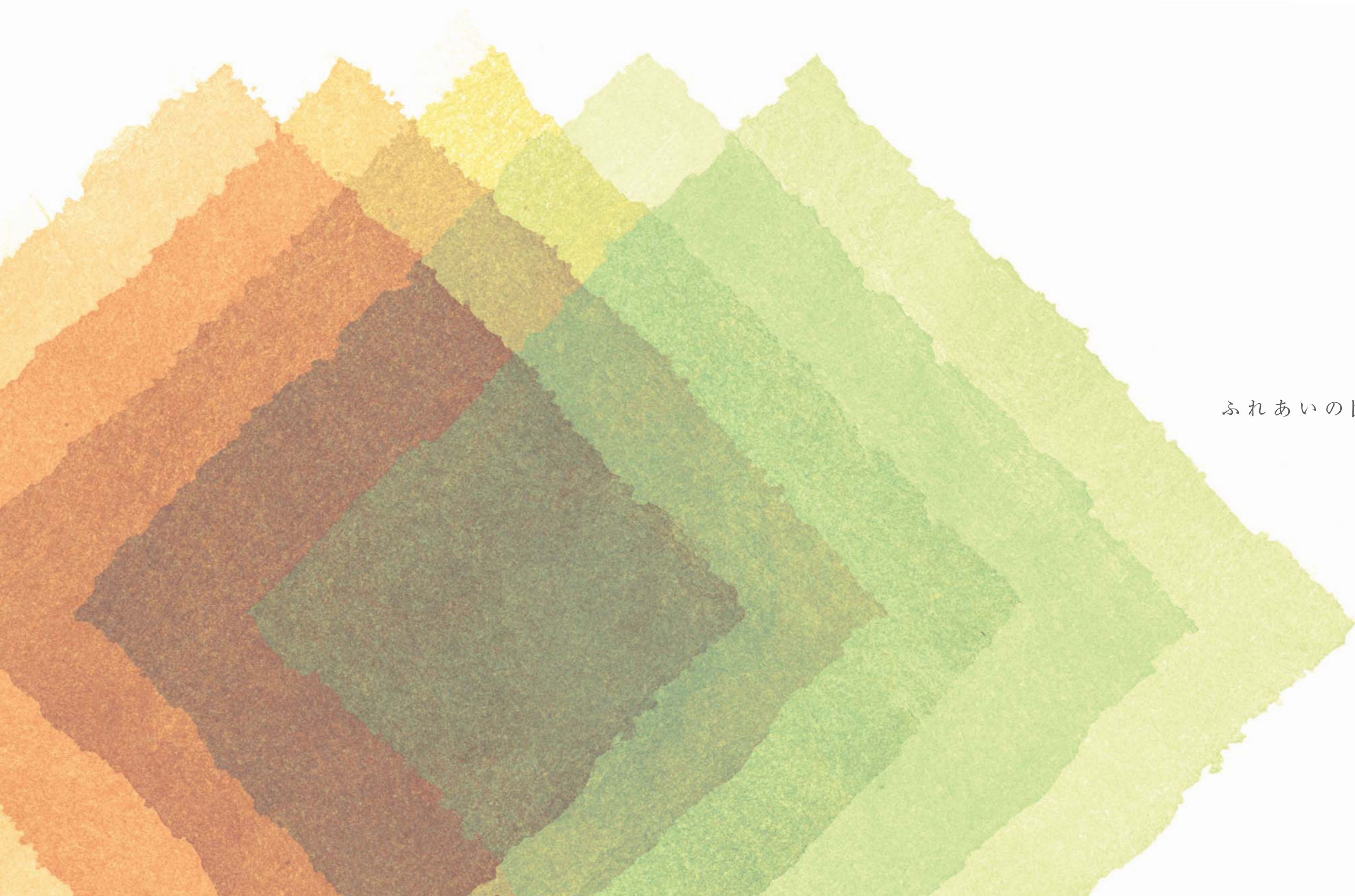
—— 街に、ルネッサンス ——



UR

UR都市機構

一日も早い東北の復興へ 全力で取り組んでいます



ふれあいの団地 ～笑顔の集まる場所～

ごあいさつ

UR賃貸住宅の団地は、日本全国に1700団地以上あります。
その立地や規模、建設年代は様々ですが、
それぞれの団地が、緑豊かな住環境や、団地を舞台にしたいいきとした生活シーンなど
独自の魅力ある景観を育んでいます。

団地ならではの魅力を皆様と共有することを目的として
2008年に「団地景観サミット」という名称でスタートした写真とスケッチの公募展は、
今回で第6回目の開催を迎えることができました。

2014年は、開催名称を「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展」として改め、
「ふれあいの団地～笑顔の集まる場所～」をテーマに開催いたしました。

今回も全国から、団地で育まれたあたたかなふれあいや交流、団地が魅せる四季折々の表情など、
団地への想いに溢れた作品とメッセージを多数お寄せいただきました。
多くの皆様からの作品応募に、心よりお礼申し上げます。

UR都市機構は、皆様から愛される住環境として、
また地域の資産として、団地の持つ環境や景観をこれからも守り育ててまいります。

目次

フォト & スケッチ展概要	04
審査員プロフィール	06
受賞作品・応募団地の紹介	08
●フォト大賞	10
●スケッチ大賞	12
●UR理事長賞	14
●審査員特別賞	16
●優秀賞 (大西 みつぐ・千葉 学・なかだ えり・池邊 このみ・UR都市機構 選)	18
●入賞	28
●応募団地	36
審査の風景	44

- 受賞者および有識者審査員の敬称は省略させていただいております。
- 受賞作品の紹介内容は原則下記の順で掲載しております。
作品タイトル／氏名／団地名称（都道府県）／メッセージ
- 「応募団地」は応募作品をトリミング加工の上、掲載しております。

フォト & スケッチ展概要

作品審査について

UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展2014は、UR都市機構によって建設された全国の団地の豊かな環境をより多くの方々に知っていただくことを目的に、「ふれあいの団地～笑顔の集まる場所～」をテーマとして開催しました。

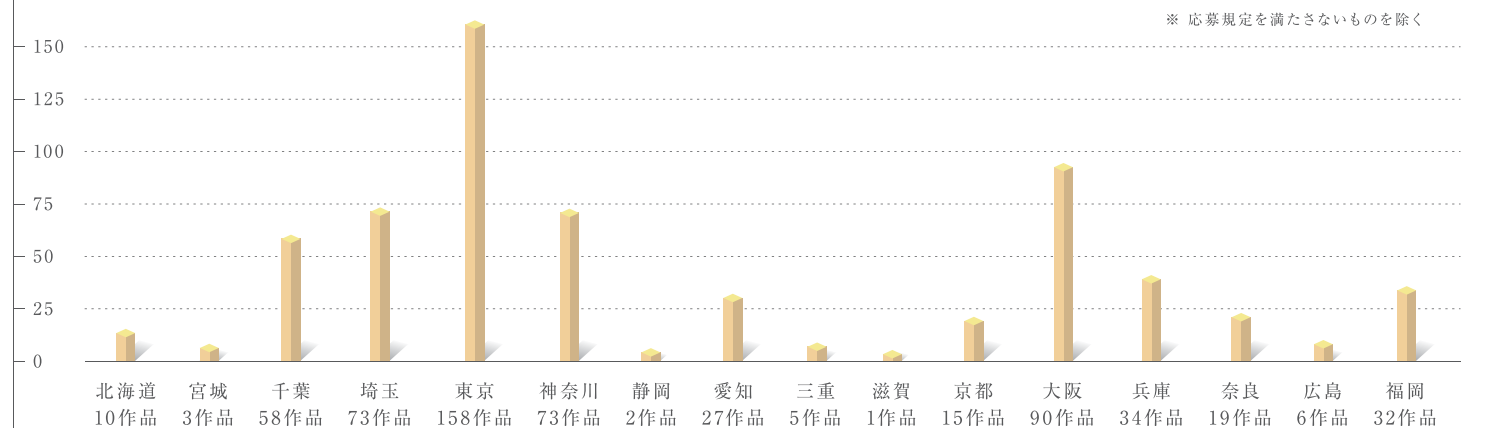
応募作品は、UR賃貸住宅のコミュニティや景観を題材とした写真、またはスケッチとし、皆様の団地景観に対する想いを、タイトルとメッセージで表現していただきました。応募資格は、できる限り多くの方々に参加していただくため、団地にお住まいの方だけではなく、団地に関心のあるすべての方としました（プロの写真家や画家の方を除く）。

約4ヵ月の受付期間を経て、311名の皆様から、648作品（写真570作品、スケッチ78作品）のご応募をいただきました。

その中から、規定審査と事務局審査を通過した262作品（写真214作品、スケッチ48作品）について、4名の有識者審査員（以下、審査員）による審査とUR職員投票により、フォト大賞1作品・スケッチ大賞1作品（全審査員による協議により選定）、UR理事長賞1作品、審査員特別賞1作品、優秀賞5作品（各審査員1作品、UR職員投票による最多得票1作品）、入賞15作品（UR職員投票による上位作品）を選出しました。なお、審査過程では作品の応募者名を無記名とし、写真やスケッチの内容に加え、タイトルとメッセージを含めた総合的な評価をさせていただきました。

スケジュール	
2014年 3月28日	開催予告
2014年 5月16日	開催発表
2014年 5月16日 ～ 9月24日	作品応募受付期間
2014年 9月 ～ 12月	応募作品の審査 [事務局審査、UR職員投票審査、有識者審査]
2014年 12月25日	審査結果の発表

応募作品における都道府県別応募作品数

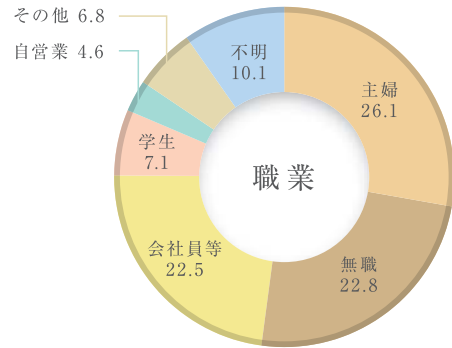
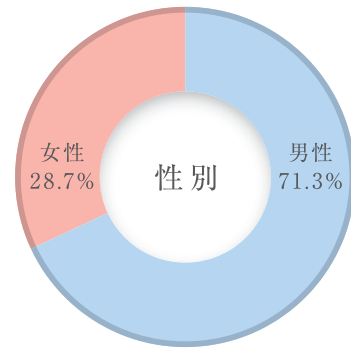
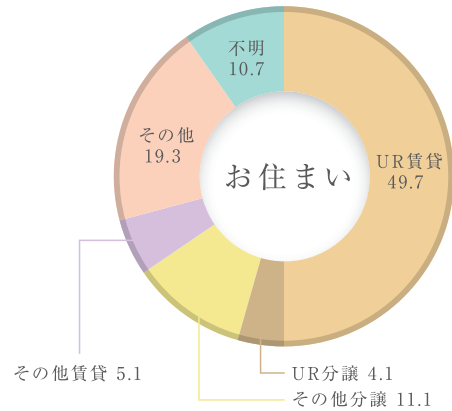
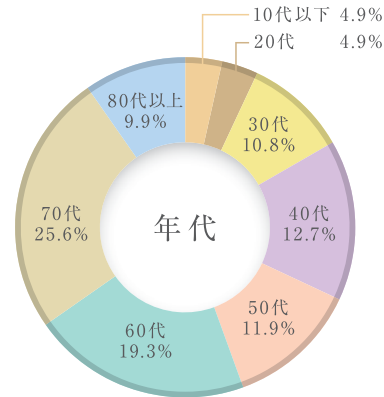


応募作品の構成要素



1	人の活動	26.1%
2	街並み・団地風景・夜景	22.1%
3	シンボルツリー・花・花壇・屋上緑化	12.7%
4	自然（雪・空・動物等）	9.1%
5	建物	8.8%
6	並木・林・緑地等	5.1%
7	人物	4.3%
8	広場・公園（団地内）	4.3%
9	屋外施設	3.0%
10	水辺・ビオトープ	1.7%
11	その他	2.8%

応募者の属性



応募が多かった団地

団地名	所在地	作品数							
草加松原・コンフォール松原	埼玉県	15 作品	花畑	東京都	10 作品	五輪	北海道	7 作品	
多摩平の森	東京都	14 作品	グリーンヒル寺田	東京都	9 作品	若松二丁目	千葉県	7 作品	
赤羽台・ヌーヴェル赤羽台	東京都	14 作品	芦屋浜	兵庫県	9 作品	千葉ニュータウン高花	千葉県	7 作品	
総持寺	大阪府	11 作品	武里	埼玉県	9 作品	入間駅前プラザ	埼玉県	7 作品	
豊島五丁目	東京都	11 作品	コンフォール上野台	埼玉県	8 作品	ひばりが丘・			
えびな	神奈川県	10 作品	金剛	大阪府	8 作品	ひばりが丘パークヒルズ	東京都	7 作品	

審査員プロフィール



大西 みつぐ氏
写真家

Mitsugu OHNISHI
Photographer

東京総合写真専門学校卒業。1985年「河口の町」で第22回太陽賞、1993年「遠い夏」ほかにより第18回木村伊兵衛写真賞受賞、江戸川区文化奨励賞受賞。1970年代から東京の下町を拠点として撮影活動続けるほか、大学や専門学校などで若い世代を指導、また各カメラ雑誌において記事執筆、月例コンテスト審査員を歴任するなど写真愛好家へのアドバイスも積極的に行なっている。日本写真協会、日本写真家協会会員、ニッコールクラブ顧問、大阪芸術大学客員教授。

総評

景観写真となると団地の建物群が中心になりがちですが、暮らしの中の何気ないワンシーンを切り取った写真もあり、興味深く拝見しました。カメラの機能を上手に利用するのも今の写真の楽しみ方のひとつ。美しい風景や鮮やかな色彩にこだわりすぎることなく、これからも気軽に団地での生活の断片を捉えた作品に期待したいと思います。



千葉 学氏
建築家

Manabu CHIBA
Architect

1985年東京大学工学部建築学科卒業、1987年同大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了、株式会社日本設計、ファクターエヌ共同主宰を経て、2001年千葉学建築計画事務所設立。2009年-2010年スイス連邦工科大学客員教授、現在、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。主な受賞に第27回村野藤吾賞（工学院大学125周年記念総合教育棟）、ユネスコ・アジア太平洋遺産賞功績賞（大多喜町役場）、2009年日本建築学会賞（作品）（日本盲導犬総合センター）など。

私にとって団地とは幼いころから身近にある風景で、昭和の時代から日本の発展と共にさまざまなタイプの団地が生まれています。作品を通じて感じたのは、それらが既にあらゆる世代の方にとってひとつの原風景になってきている、ということです。団地に対する見方はそれぞれで異なり、新しい魅力も見いだしている。それが私にとっても新鮮な発見でした。



なかだ えり氏
イラストレーター

Eri NAKADA
Illustrator

日本大学生産工学部建築工学科卒、法政大学工学部建築学科修士課程修了。フリーランスでイラスト、執筆、建築設計など多分野で活動中。東京・千住にて築200年の「蔵」をアトリエとしてきたが、2014年より元スナックをリノベーションした建物に拠点を移す。千住の古い建物を活用する活動に参加。著書に「駅弁女子～日本全国旅して食べて」（淡交社／2013年）、「奇跡の一本松～大津波をのりこえて」（汐文社／2011年）、「東京さんぽるぽ」（集英社／2010年）などがある。「奇跡の一本松～」は2015年～2018年度の小学校の道德の教科書に掲載予定。

2010年にも審査をさせていただきましたが、今回は前回に比べて、近代的な建物を撮った作品が増えたように感じました。建物自体は新しいのにどこか温かみがあるのは、住んでいる方の団地への愛着が写し出されていたからなのかもしれません。子どもからお年寄りまでが暮らす団地の中で、世代を超えた交流や物語のようなものが見て取れる作品に心惹かれました。



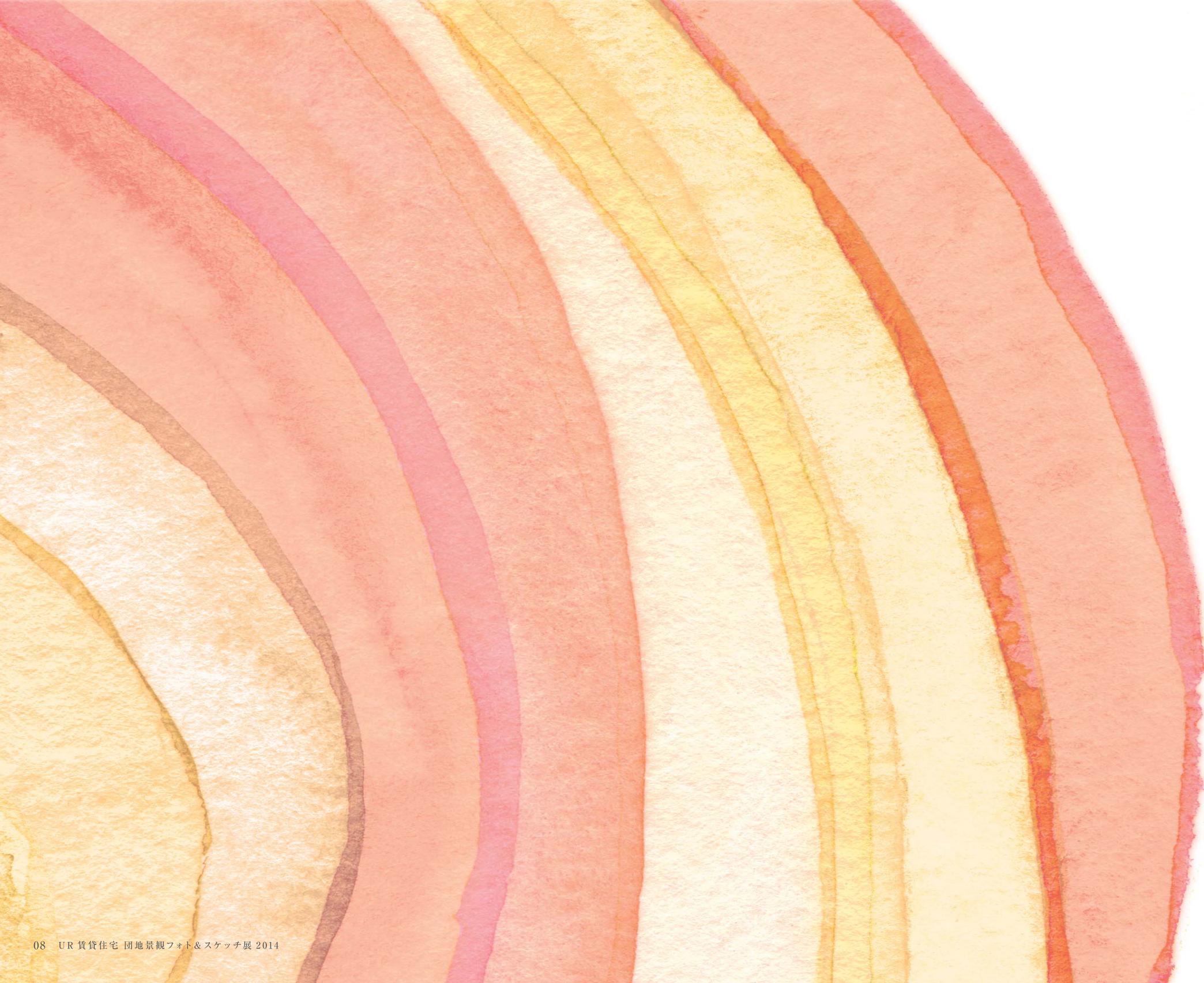
池邊 このみ氏
ランドスケーププランナー

Konomi IKEBE
Landscape planner

千葉大学大学院教授、専門は造園デザイン学。千葉大学大学院博士課程修了、住信基礎研究所、ニッセイ基礎研究所等をへて、現職。2007年より3ヵ年、UR都市機構の都市デザインチームリーダーを兼務。学術会議連携会員、国土交通省社会資本整備審議会委員、文化庁名勝部門審議委員、国土交通省景観賞審査委員、陸前高田市文化財保全活用調査委員長、高田の松原復興祈念公園構想会議委員、都市景観大賞審査委員、都市公園コンクール審査委員等を務める。

今年は特にスケッチ作品が多様になり、これまでになかったタイプの作品も見受けられました。団地ならではのひとコマを切り取ったものや、逆に日常生活の中のストーリーを描いたものもあり、団地での暮らしはこんなにも温もりや人間味にあふれ、居心地が良いのだよ、というメッセージが作品から伝わってくるようでした。





受賞作品・応募団地の紹介



フォト大賞

朝日を背にランニング 高橋 一吉

芦屋浜（兵庫県）

この団地の住人の方は健康志向の方が多く 朝日が昇る頃ランニングやウォーキングする人をたくさん見かけます。

[審査員からのコメント]

朝日を背にしていますが、同時に団地のわが家を背にして走っているだろう親子。そこにはささやかな希望と確かな愛情に支えられた暮らしが息づいています。一枚の写真でそれらを象徴するイメージとして、本来難しい条件である逆光を上手に生かし撮影されています。電線や屋根にあたる光も美しく、絵画のように豊かな色合いが印象的です。 《大西 みつぐ》



スケッチ大賞

全員集合 村上 綾

若久（福岡県）

一人っ子だった私は、毎日、遊び相手を探しに団地に直行していました。他人の子どもでも悪いことをしたら叱ってくれる大人たち、泣いていれば声を掛けてくれる大人たち。団地一丸となって、子どもを見守り、育ててくれる環境。団地に存在する、現代社会で見失いかけている風景を、描きました。

〔審査員からのコメント〕

団地に住む人々への愛着や感謝が溢れていて楽しい作品です。特に人物を切り抜いて貼付けた切り絵的な表現方法は圧巻で、一人一人の人物を思い浮かべながらニコニコと制作したのではと想像します。またともすれば生活感が出過ぎる布団や洗濯物もポップでかわいらしく描かれていて好感が持てます。
《 なかだ えり 》



UR 理事長賞

お手手つないで 多和 裕二

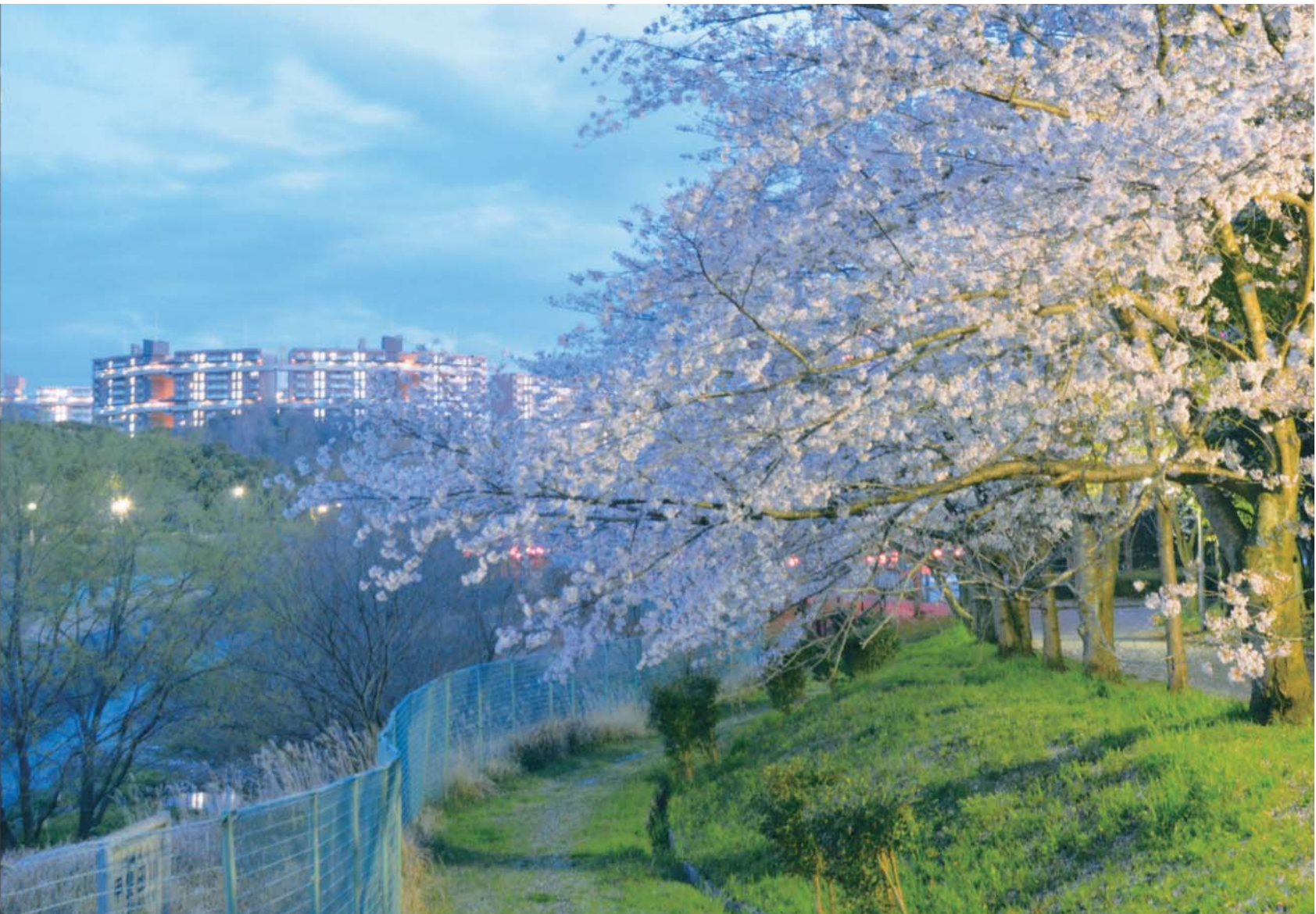
豊島五丁目（東京都）

お子さん達が朝日を受けながら、パパとママに手をひかれながら幼稚園へお見送りをしてもらっている光景です。楽しくお話をされながらのお見送りに、思いやりと愛情に包まれているご家族を感じました。

〔審査員からのコメント〕

住棟のピロティをカチッとした額縁のように見立てる中、明るい陽射しを受けた緑豊かなゆとりある団地環境の広がり、そこに暮らす家族の温かさが、作者の優しい気持ちを通して捉えられています。

さりげない日常の風景が、家族にとってかけがいのない貴重な時間であると改めて気付かされました。 《UR都市機構 理事長 上西 郁夫》



審査員特別賞

春宵の鴨谷台の団地 黒川 和平

泉北鴨谷台三丁（大阪府）

ここは、弧を描いて建つ美しいマンション群自体に加え、附近の環境がすばらしい。団地の下を流れる甲斐田川沿いには樹齢 30 年の桜並木があり、例年春は花見客で賑う。桜が満開の折、ここから団地を望む風景は、正に一幅の絵見るようで心が和む思いがします。

〔審査員からのコメント〕

作者は一幅の絵画を見たとおっしゃるように、無駄のない適切な構図と自然な色合いで美しい風景としてまとめられています。昨今は時として過剰な鮮鋭度を写真プリントに期待する傾向がありますが、こうした日本的な「情感」をしつとりと表現するのもいいものです。しみじみとご近所の風景を写真で愛でるというのも日々の楽しみのひとつ。 《 大西 みつぐ 》



優秀賞（大西 みつぐ 選）

ここで過ごした3年 瀬川 全澄

茨木三島丘イースト（大阪府）

1歳の頃の写真と同じ場所で、間もなく10歳になる娘を撮りました。娘の成長の早さには驚くばかりですが、この大きな団地は末永く多くの人の生活基盤となり、彼らの将来を見届けていくのだと思います。さて、2歳までこの団地で過ごしていたことを娘に教えてあげると、ようやく写真の意図がわかり、びっくりしていました。

〔審査員からのコメント〕

お嬢さんの成長のはやさに驚く作者は、かつて暮らした団地の同じ場所で再び一枚。小さな物語を編むようにお嬢さんが小さい頃の話がされたようです。同じように並ぶ団地の窓に、きっと自分を見つけ、それぞれの暮らしを想像されたことでしょう。記憶と記憶。写真の永遠の命題がそこに感じられます。率直にして普遍的な写真です。 《大西 みつぐ》



優秀賞（千葉学選）

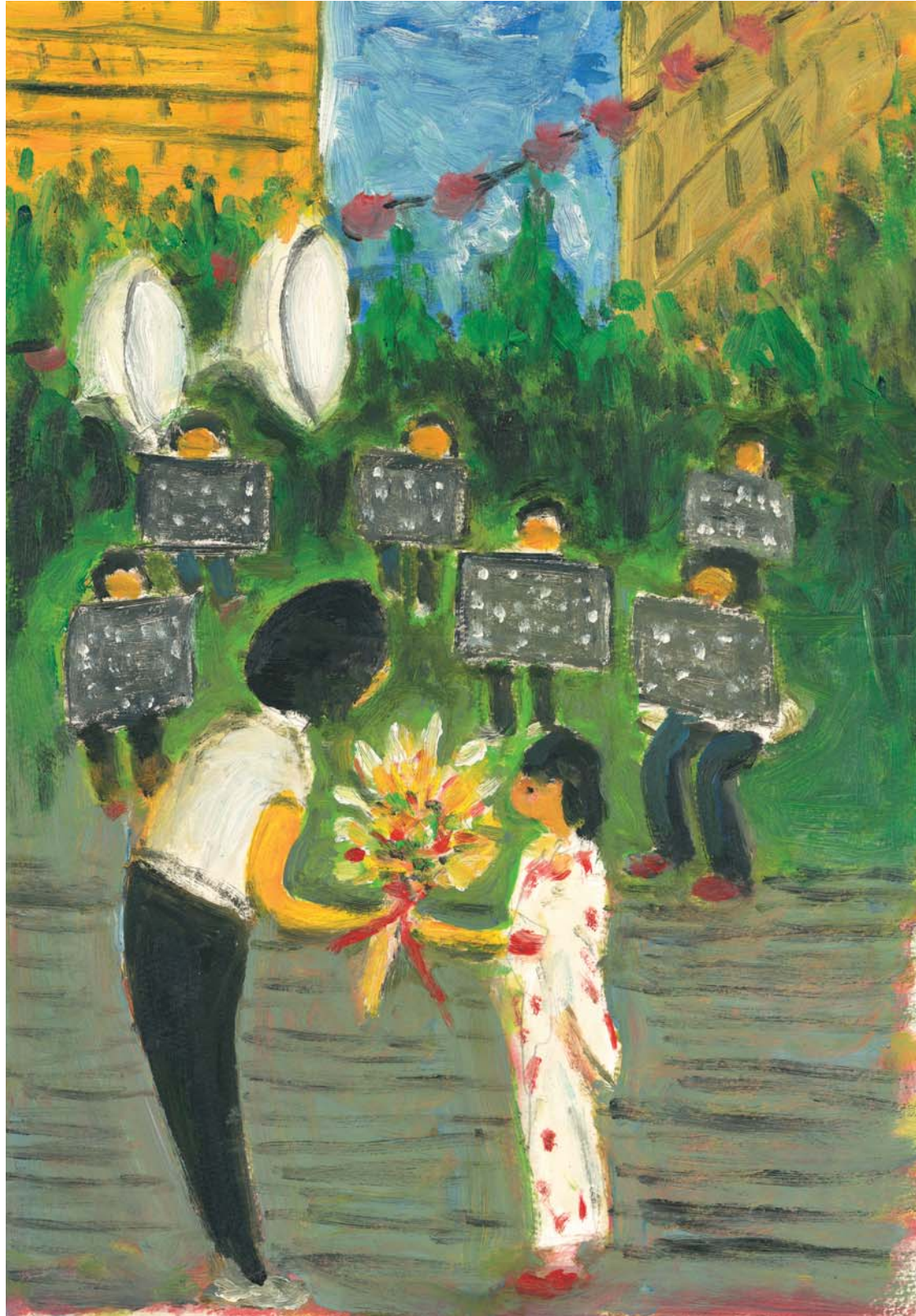
秋近し 五十子 基

百草（東京都）

うだるような暑さが一段落する夕方、ヒグラシの鳴き声を聴きながら高台に登った。頂点に着くと夕陽に染まる団地が目の前に広がった。心地よい風が吹く度、秋はもうすぐそこまで来ていると感じた。

〔審査員からのコメント〕

ともするとありきたりな風景になってしまいそうな夕日に染まる団地の景観が、幾重にも折り重なる住棟の見事なフレーミングによって、実に詩情溢れる作品に昇華している。かつては均質化と揶揄されていた団地の風景に日常の美しさを見るその眼差しには、団地がもはや日本の原風景となっていることも感じられて感慨深い。 《千葉学》



優秀賞（なかだ えり 選）

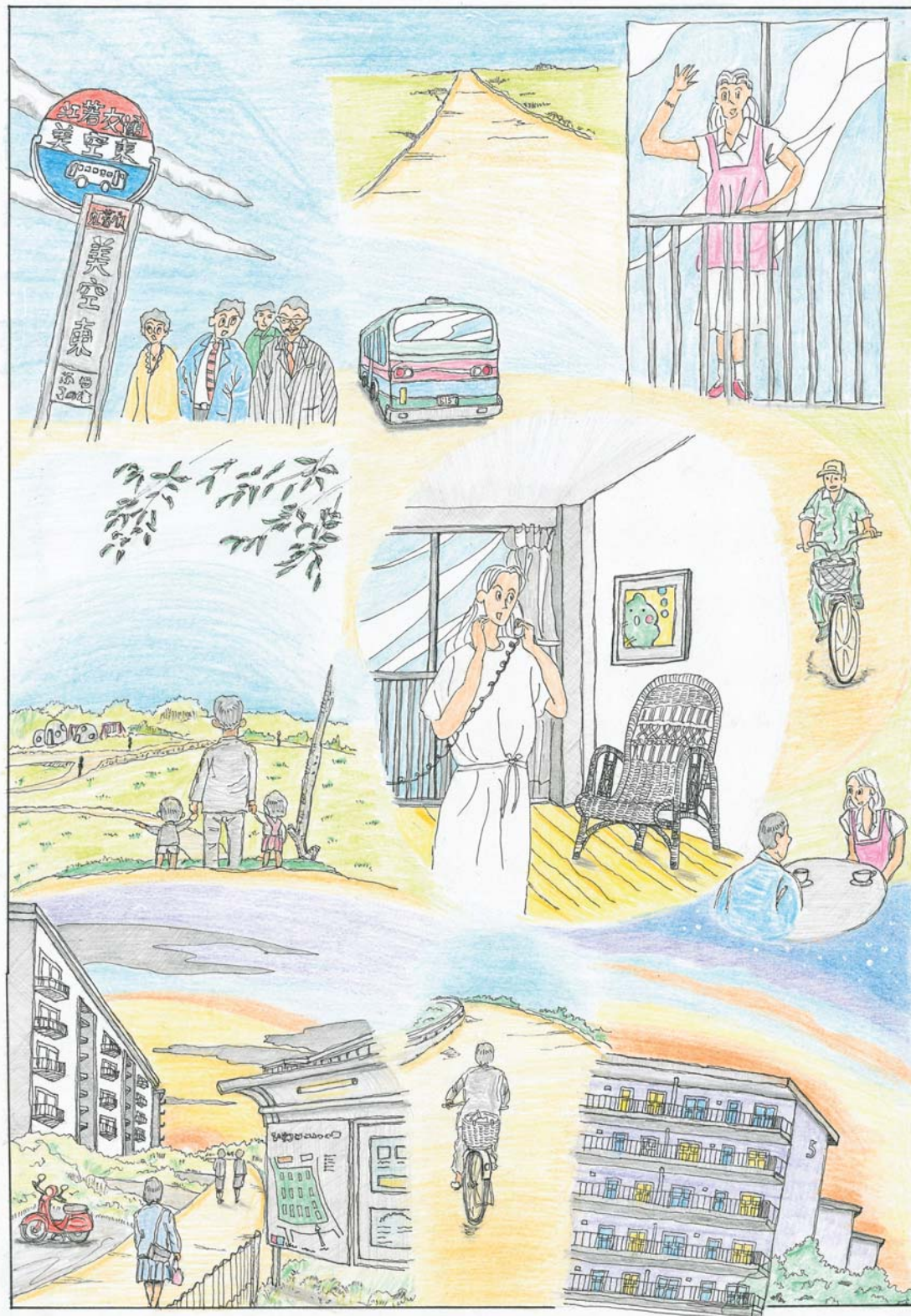
花束贈呈 岩田 二郎

ムーヴェル赤羽台（東京都）

恒例の団地祭には何時も出場される赤羽台西小の吹奏楽演奏は仲々素晴らしく、91 才の難聴の耳にも気持ちよく拝聴しました。全曲が終り指揮の先生に浴衣の女の子が花束を贈呈する場面はとても素敵でした。亡くなった妻にも見せてあげたかった。

〔審査員からのコメント〕

少し寂しさを感じる背景の中に、ほのほのとした小さな交流が心を温かくしてくれます。そして亡き奥様を思いやるメッセージにもジーンと胸が熱くなり、思わず涙ぐんでしまいました。団地で育まれた尊い時間の積み重ね。91 歳というご年齢に、ぜひ来年以降の作品も拝見したいと思います。 《 なかだ えり 》



優秀賞（池邊このみ選）

美空団地での暮らし 神澤 力男

びわ湖美空（滋賀県）

「行ってらっしゃい」。妻の明るい声が私の背中を押す。嬉しい朝のひと声だ。バス停に着くと、後輩の新人くんが声をかけてきた。「夫婦円満のコツは何んですか?」「昨日の口論を翌日まで引きずらないことかな」。あと「ここに住んでると、俺ひとりじゃないんだって思えて」。そんな日常生活をイメージして描いてみました。

〔審査員からのコメント〕

団地の朝からの 1 日を、生活感あふれるイラストで綴った新しい形式のあなたの作品は、審査員全員の眼に新鮮でした。また、情景の 1 コマ 1 コマに、こまやかな生活の描写があってとても素敵です。メッセージは、円満なご夫婦の温かな気持ちが伝わり、私達まで幸せな気分になりました。 《池邊 このみ》



優秀賞（UR都市機構選）

みんなそろって笑顔いっぱい 安間 隼斗

高陽金平（広島県）

高陽にはおばあちゃんが住んでいます。市内から少し離れているので静かです。緑がいっぱいで近くには大きな公園もあります。その公園のトンネルをくぐって遊ぶのが大好きです。

UR都市機構の職員投票により最多得票を獲得した作品です。



入賞

今日を想う。明日を想う。

西原 妙 立川幸町（東京都）

私が団地で過した十数年は、楽しい事ばかりでなく沢山の苦難もありました。それでも今も団地が好きです。朝は清々しく昼は穏やか。夜の静かな高揚感も…。でも何より好きなのは美しい夕暮れ時です。夕飯の匂いと薄暗い建物が茜空に重なる世界で、辛かった日は終わり、明日はまた新しいものだと思えられているようでした。



入賞

河口の夕景 真次 弘

リバーシティ21イーストタワーズ、イーストタワーズ II（東京都）

隅田川の河口からは高層ビルの綺麗な夜景が見られます。屋形船の光跡が川面に彩りを添えます。



入賞

ヤギ 山室 嘉子

町田山崎（東京都）

昨年、町田の山崎団地ではヤギによる除草がおこなわれています。ヤギの見える橋で住民は足を止めてながめたり、写真を撮ったり、立ち話をしたり近くの保育園児はうれしそうにヤギに話しかけたり、のんびりと時間が過ぎていきます。こうして、ヤギは除草しながら住民を癒しています。



入賞

桜並木のある風景 西川 千明

芦屋浜（兵庫県）

桜の季節はお花見が出来ます！花を楽しむのと同時に団地横の宮川で鴨や鷺などの観察もでき、散歩が楽しめる団地です。



入賞

自宅からの夜景

三宅 功将

芦屋浜（兵庫県）

芦屋浜団地に住んで二年が経ちました。芦屋市には高層建築が他に無いので、どこからでも芦屋浜団地群を見つける事が出来ます。見る場所によって、または角度によって、色々な表情を見せてくれる芦屋浜団地は、私にとって、住む場所であり、そしてフォトジェニックな特別な存在です。自室よりの夜景。



入賞

帰る場所

村松 可直子

谷津パークタウン（千葉県）

去年の夏、干潟の周りをお散歩中に撮影しました。青空にラムサール条約登録 20 周年記念の黄色いハンカチが映えていて気持ちよく歩いていたところ、夏雲がまるでパークタウンに帰るように流れていました。私自身、谷津パークタウンで幼少期を過ごしたので、とても思い出深い場所です。



入賞

関西 UR の春夏秋冬絶景の庭 秋

福田 善行 高見フローラルタウン六番街（大阪府）

春は桜 夏の緑 秋の紅葉 冬の雪景
大阪此花区の高見 UR の絶景の庭園
自然と暮らしが一体となったのどかな風景



入賞

朝の虹

川上 操三郎

小島町二丁目（東京都）

朝目を覚ますとカーテンが真っ赤になっていました。火事・・・と一瞬思いましたが、カーテンを開けると真っ青な西の空にきれいな虹が出ていました。それもめったに見られない二重の虹。すぐにカメラを取り出し、広角レンズに付け替えて写しましたが、5分位で消えてしまいました。何か得した自分になりました。



入賞

背くらべ 稗田 恵理子

コンフォール上野台（埼玉県）

毎朝背くらべをするのが日課だった昨年夏。団地内にたくさん咲いていた大きな花がきっかけでした。図書館で調べた花の名前はアガパンサス。兄弟一緒に幼稚園に通った楽しい思い出の1ページです。



入賞

2：30のUR住宅 高木 政史

豊洲四丁目（東京都）

2時半頃、URTOYOSU 住宅の前でスケッチをしていると。元気な子供達の声、UR 住宅に帰る子、また明日ねと友達と別れる子、これから買い物に行くのかと思われる親子、おしゃべりをつづけるお年寄り、そんな姿を見ていると、66 才の私も元気をもらいました。そしてもう少しがんばらなくちゃとスケッチをつづけました。



入賞

幸せ感じる、日常のひととき。

原 麻衣子 南港わかぎの（大阪府）

自宅のある団地の周りに広がる、草原と青空。ベビーカーに乗りながらお散歩していた息子も、今ではお友達と元気いっぱい遊んでいます。温かい陽だまりと優しく揺れる草木に包まれながら、のびのびと成長していく子供たちと過ごせるひととき。いつも幸せを感じています。



入賞

窓から電車が見えるよ 安間 伊吹

フラワープラザタカノバシ（広島県）

タカノバシは商店街がありとてもにぎわっています。路面電車の大好きな僕は、毎日窓から電車が見えるこの住宅に住みたいです。



入賞

奇跡

中川 晃太

ハーモネスタワー松原（埼玉県）

雨がやんだ後、たまたま自分の家のベランダを見てたら、虹が2つあった。このめったに見れない光景を世界中の人が見れたらいいなと思いました。



入賞

日本産業モノリス

植村 勝

芦屋浜（兵庫県）

西宮御前浜公園から見た摩天楼。阪神・淡路大震災を乗り越えた強靱さ、30年以上経っても色褪せないデザイン性。将来の産業文化遺産として、維持管理をして頂きたい建築群です。



入賞

水鏡

日野 房男

幸手（埼玉県）

大雨の翌日の朝、広場が一面の雨水で天と地を写す、鏡のようになっていました。

応募団地

応募団地数	
北海道	3団地
宮城	2団地
千葉	26団地
埼玉	19団地

北海道



札幌豊平



澄川



五輪

宮城



黒松



仙台宮城野

千葉



アートヒル高根台



アルビス前原



大津ヶ丘



行田



グリーンタウン光ヶ丘



グリーンプラザ幕張



コンフォール柏豊四季台



高津



さつきが丘



袖ヶ浦



コンフォール稲毛小仲台



プロムナード北松戸



千葉ニュータウン高花



常盤平



習志野台



村上



ハイタウン塩浜



千草台



成田ニュータウン橋賀台



千葉幸町



幕張ベイタウンパティオス七番街



谷津パークタウン



若松二丁目

埼玉



入間駅前プラザ



川口芝園



かわつるグリーンタウン松ヶ丘



かわつるグリーンタウン松ヶ丘第二



グリーンアベニュー谷塚



コンフォール上野台



八潮



コンフォール松原



せんげん台パークタウン三番街



草加松原



朝霞浜崎



武里



所沢パークタウン駅前通り



西上尾第一



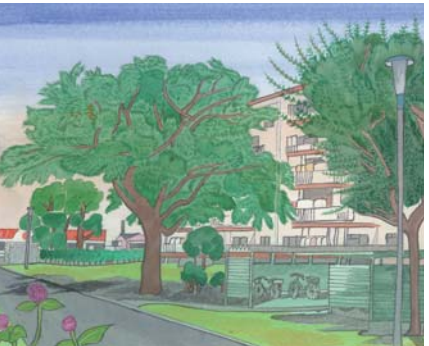
尾山台



ハーモネスタワー松原



東坂戸



幸手



若葉台

東京



赤羽台



アクティ汐留



王子五丁目

応募団地数	
東京	51団地
神奈川	30団地



大島六丁目



大谷田一丁目



小山田桜台



神谷堀公園ハイツ 北砂五丁目 栗原 グリーンヒル寺田 小平



東雲キャナルコートCODAN シティコート大島 シーリアお台場三番街 シャレール荻窪 高島平 神代 竹の塚第二



多摩ニュータウン長池公園せせらぎ通り南 立川幸町 多摩ニュータウン永山 多摩ニュータウン南大沢学園二番街 多摩ニュータウン長池公園せせらぎ通り北



鶴川 萩山 花畑 日の出町 中目黒アトラスタワー



富士見台 ひばりが丘パークヒルズ ひばりが丘 フレール西新井第二 野田山崎 西新小岩リバーハイツ リバーシティ21イースト Towers、イースト Towers II



武蔵野緑町パークタウン えびな 金沢シーサイドタウン並木一丁目第一 金沢シーサイドタウン並木二丁目 飯島



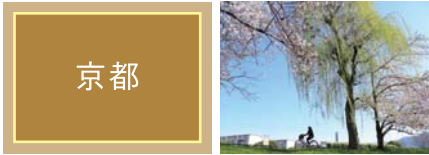
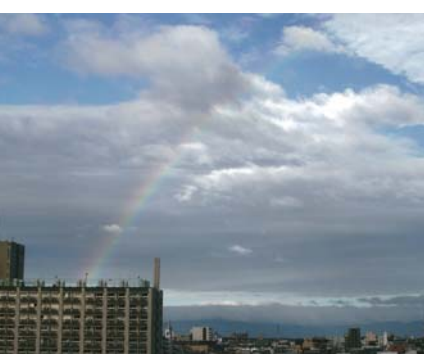
コンフォールさがみ南 くぬぎ台 左近山 小杉御殿 シティコート元住吉



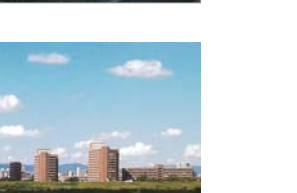
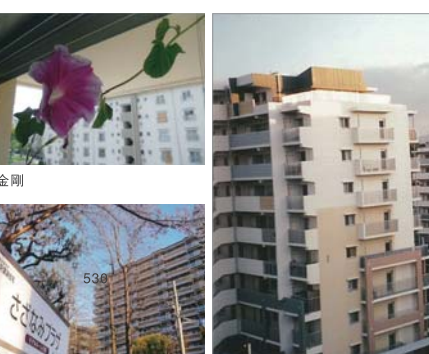
下大槻 シャレール海岸通 鶴見町第二 天王町 十日市場ヒルタウン 辻堂



応募団地数	
静 岡	2 団地
愛 知	13 団地



応募団地数	
大 阪	35 団地
兵 庫	15 団地
奈 良	7 団地





新千里東町 高槻・阿武山六番街 高槻・阿武山四番街 高見フローラルタウン六番街 鶴山台 東豊中第二



中百舌鳥公園 南港わかぎの 春木 ブロムナーデ関目 都島リバーシティ 森之宮



明石舞子 芦屋浜 アルビス寺本 落合 志染 浜甲子園



浜甲子園さくら街 東山台ハイツ 鈴蘭台第五 ひよどり台中央 新長田駅前



ポートアイランド 横尾 ルミエール千鳥 武庫川



中登美第三 富雄 平城第二 鶴舞 奈良学園前・鶴舞



高陽金平 鈴が峰、鈴が峰第五・第六 鈴が峰 フラワープラザタカノバシ



アーベインリビエ清水 アーベインネス足立 アーベインネス梅光園 アーベインネス諸岡



アーベインネス曙 堤 アーベインネス白銀 長住



徳力 花鶴丘 星の原 室住

応募作品の一部を
紹介しています。

審査の風景

世代を超えた様々な人と暮らしが集う団地。そこは人と人とのふれあいによる物語が生まれ、ささやかな感動や笑顔の源となっています。第6回目を迎えた「団地景観フォト&スケッチ展」は、ふれあいの団地～笑顔の集まる場所～というテーマで開催され、団地での温かな暮らし、心のつながり、そして団地という建造物への愛着の眼差しが特に強く現れている作品に高い評価が集まりました。審査後に行われた講評座談会から、それぞれの作品の評価ポイントを探ります。



大西 みつぐ氏



千葉 学氏



池邊 このみ氏



なかだ えり氏



■ フォト大賞 「朝日を背に ランニング」

大西 みつぐ 朝日と団地である我が家を背にして走っている親子の写真ですね。本来、逆光の状態ではなかなかシャッターを切らないものですが、絶好の被写体に出会い、親子を照らす朝日がきれいで、思わず撮ったのでしょうね。作者の実感が伝わってくる一枚です。電線や屋根にあたる光も美しく、絵画のように豊かな色合いで、とても斬新な写真表現になっています。
池邊 このみ 色彩が素晴らしく一瞬で目を引く写真です。とても造形的で大賞にふさわしい

作品だと思います。

千葉 学 写真表現としての素晴らしさもさることながら、とても前向きな印象があっていいですね。



■ スケッチ大賞 「全員集合」

なかだ えり 団地に住む人への愛着や感謝があふれていて、きっと作者の方は一人ひとりの顔を思い浮かべてニコニコしながら一生懸命制作したのでしょうね。それにこの作品、人物の部分が切り絵で作られているんですね。この表現方法も秀逸です。生活感が出てしまいが

ちな布団や洗濯物がこんなにポップでかわいく仕上げられていて、とても好感が持てます。
大西 みつぐ 私たち写真家の場合、布団や洗濯物は撮らないようにします。生活感がリアルに出てしまうので。でもイラストの場合は色使いでとてもポップに仕上がる。

池邊 このみ メッセージには「一人っ子だった私は、毎日、遊び相手を探しに団地に直行」していたと書かれています。そこには友達がい

て、誰かが遊んでくれる。団地に対するイメージが作品からよく伝わってきます。

千葉 学 何と言っても「全員集合」というタイトルがいいですね。

なかだ えり 布団を干したままちょっと出か

けられ。そんな身近な距離感も団地ならではの



■ UR理事長賞 「お手手 つないで」

池邊 このみ パパとママに手を引かれながら幼稚園へ。URのコマーシャルに使えるようで素敵です。



■ 審査員特別賞 「春宵の鴨谷台 の団地」

大西 みつぐ 作者が一幅の絵画を見たとお

しやるように、無駄のない適切な構図と自然な色合いで、美しい風景としてまとめられています。昨今は強めの色彩の写真が好まれますが、この作品の場合はコントラストを抑えて正解だったと思います。淡い色彩で日本的な情感をしっとり表現するのもいいものですね。

池邊 このみ 落ち着いてしっとりした印象でどこか色気もあります。84歳の方の作品ですが、色彩は若々しい。桜の美しさだけを狙ったのではなく、遠くに見える団地も含めて一つの風景として捉えていらっしゃる。以前は、「団地景観」というと、住棟を中心にした写真が多かったのですが、今年はこの方の作品のように、街並に溶け込んだ団地、暮らしの中の団地を表現した作品が多かったと思います。





■ 優秀賞
「花束贈呈」

なかだ えり 作者の方は91歳の男性で、亡き奥様を思いやるメッセージも書かれてあり、思わず涙ぐんでしまいました。団地内のほのぼのとした交流が描かれ、それらが尊い時間としてこの方の中に積み重ねられているのでしょう。ぜひ来年も応募していただきたいと思います。

池邊 このみ 一見しんみりした印象ですが、実物の作品を拝見すると意外と明るさも感じられます。花束を持っているし。何と言ってもこの

エネルギーがすごい。ぜひ100歳になっても応募していただきたいです。



■ 優秀賞
「ここで
過ごした3年」

大西 みつぐ 私は人が好きです。自分でも「人が生きる町」という観点で写真を撮っていることもあり、人物の写真に心が惹かれます。この写真には父親の胸に去来する思いがしっかりと写し出されていて、ドラマもあり、切なさもある。女の子は小さい頃の写真を持っていますが、ほぼ同じ場所で撮影していますね。きっとこの子は思い出を大切にしてくれるでしょう。

千葉 学 私の中では大賞に選ばれてもいいく



らい、良い作品だと思いました。



■ 優秀賞
「秋近し」

千葉 学 20歳の方の作品ですが、びっくりさせられました。建築界ではどちらかというと均質化と揶揄されていた風景ですが、若い人はそこに景観美を感じている。団地がひとつの日本の原風景となっているようでとても興味深いですね。実に詩情があふれる作品です。

大西 みつぐ 結構お若いのにコメントに「ヒゲラシの鳴き声」などと書かれている。俳句もやっているのかな(笑)

なかだ えり 私もこの作品には驚きました。建

物しか写っていないのに、季節感もしっかり出ていて素敵ですね。

池邊 このみ 今年は、団地をフォトジェニックに捉えた作品が多いですね。もともと団地そのものがフォトジェニックな形ではありますが。



■ 優秀賞
「美空団地での暮らし」

千葉 学 美空団地というところがあるんですね。いい名前だなあ。

大西 みつぐ ほのぼのとした印象があっていいですね。一見、プロかと思いました。すごうまい。

池邊 このみ 私は団地はライフスタイルだと思っています。そういう意味で、この作品は団地らしいスタイルを端的に表現していると思いました。「行ってらっしゃい」から始まる1日を1コマ1コマ描いたマンガのような表現も新鮮です。生活感たっぷりで人物の表情もとてもリアル。円満なご夫婦が目浮かび、こちらまで幸せな気分になりました。



フォト & スケッチ展の実施につきまして、応募者の皆様及びご協力いただいた皆様に、深くお礼申し上げます。

企 画・発 行 独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理部 都市再生設計チーム 森田 正彦 林 新太郎 日尾 奈美子

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー

制 作 株式会社URリンケージ 都市・居住本部 企画設計部

2015年 3月発行

※本誌の写真および内容を無断で複写・転載することを禁じます。